

平成 26 年度 信州大学学生募集要項

繊維学部第 3 年次編入学試験
(第 2 次募集)



**SHINSHU
UNIVERSITY**

信州大学のアドミッションポリシー

1 求める学生像

信州の悠久の歴史と文化、豊かな自然環境のもと、地域に根ざし世界に開かれた信州大学は、真理への探究心とチャレンジ精神を培い、高度な専門知識と深い思索力を基にして、課題を探求し解決する能力を備えた人材を育成します。

また、豊かな人間性と広い視野をもち、身につけた知識や技術を人類文化と社会の持続的発展に役立て、世界の平和と自然環境の保全のために活かすことのできる、意欲あふれる若者を育てます。

信州大学は、このような教育の理念・目標を実現するために、以下のような資質を備えた人たちを積極的に受け入れます。

- ・人間と自然を愛し、人との出会いを通じて学び合おうとする人
- ・知的好奇心が旺盛で、課題に向かって主体的に行動できる人
- ・多様性を理解し受け入れ、独自性を大切に人
- ・社会・環境・国際問題に関心をもち、世界に貢献したいと考える人

2 入学者選抜の基本方針

信州大学の教育の理念・目標に則り、各学部の特性に応じた適切な方法で多様な入試を実施し、大学教育を受けるにふさわしい能力・適性等を多面的・総合的かつ公正に評価し、選抜します。

繊維学部のアドミッションポリシー

理 念

豊かな自然に抱かれた本学部は、衣・食・住の要である“繊維”に根ざした伝統的な科学技術を背景として、学際的前端科学技術のさらなる展開を図り、21世紀における文化創造科学技術を開拓します。さらに、優れた人格と国際性を有し、未来を創造しうる、広い視野と高い能力を持つ技術者、高度専門職業人、研究者を養成します。そして、地球環境と共生し、人類社会の発展と平和、福祉の向上に資することを理念とします。

教育目標

- 1) 優れた人格の形成
 - 豊かな人間性 ●社会に対する貢献と責任意識 ●高い倫理観
- 2) 進展する科学技術と社会の変化に対応しうる能力、未来創造能力
 - 課題設定・探求能力 ●普遍的基礎学力 ●学際・業際領域を開く創造的能力
 - 自己啓発能力 ●チャレンジ精神・起業家精神（ベンチャー精神）
- 3) 基礎学力に裏付けされた専門性
 - 専門的能力 ●実践的能力 ●経営・企画等能力（マネジメント能力）
- 4) 国際性
 - 自国文化・異文化理解力 ●外国語能力と個性豊かな表現力
- 5) 情報処理能力

以上を涵養し、技術者、将来の研究者として十分な基礎的素養を身につけ、総合的視野と高い能力を備えた人材を養成します。

求める学生像

繊維学部では次のような学生を求めます。

- 1) 高い志を持ち、現代の多様な学問分野を融合した学際領域的な科学技術を学ぶことに強い関心を持つ学生
- 2) 明確な目的意識と強い勉学意欲を持ち、進化する科学技術に対応するように、より高い専門的・実践的能力を得ることを目指していく学生
- 3) 地域社会や国際社会に貢献するために必要な、豊かな教養と人間性を高めようとする意欲を持った学生

目 次

1	第3年次編入学の趣旨	1
2	募集課程及び募集人員	1
3	課程の選定	1
4	出願資格	1
5	編入年次等	1
6	出願手続	2
7	選抜方法	3
8	選抜期日及び試験場	3
9	合格発表	4
10	入学手続	4
11	追加合格	4
12	障害がある方の事前相談	5
13	個人情報の利用	6
14	編入学前の既修得単位の認定等について	6
15	入試情報の開示について	6
16	その他	7
	課程紹介	8

[添付書類等]

- 入学志願票・受験票・写真票
- 自己申告書
- 入学検定料納付確認書（A票）・入学検定料領収書（B票）・振込依頼書（C票）
- 入試情報開示請求願
- 願書送付用封筒（受験生から繊維学部入試事務室あて）
- 受験票等送付用返信封筒（繊維学部入試事務室から受験生あて）
- あて名票

※繊維学部第3年次編入学試験（第2次募集）に関する情報は、信州大学繊維学部ホームページ（<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/textiles/>）にも掲載されています。

1 第3年次編入学の趣旨

高等専門学校、短期大学及び専修学校等において、人物、学業成績ともに優秀で、かつ志望課程に対して専攻の意志が強い方について、この募集要項に基づき選考を行います。

2 募集課程及び募集人員

系	課程	募集人員
繊維・感性工学系	先進繊維工学課程	若干人
	感性工学課程	
機械・ロボット学系	機能機械学課程	
	バイオエンジニアリング課程	
化学・材料系	応用化学課程	
	材料化学工学課程	
	機能高分子学課程	
応用生物科学系	生物機能科学課程	
	生物資源・環境科学課程	

3 課程の選定

志望課程は、出身学校において専攻した学科と同系統であることが望ましい。

4 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、合格した場合は入学を確約できる方

- ① 高等専門学校を卒業した方又は平成26年3月31日までに卒業見込みの方
- ② 短期大学を卒業した方又は平成26年3月31日までに卒業見込みの方
- ③ 専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすもの（修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上である課程）を修了した方又は平成26年3月31日までに修了見込みの方（学校教育法（昭和22年法律第26号）第90条第1項に規定する者に限る。）
- ④ 外国において学校教育における14年の課程を修了した方又は平成26年3月31日までに修了見込みの方で、前記①、②、又は後述の⑥、⑦のいずれか一つに相当すると認められる方
- ⑤ 外国の短期大学を卒業した方及び外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を我が国において修了した方又は平成26年3月31日までに修了見込みの方（学校教育法（昭和22年法律第26号）第90条第1項に規定する者に限る。）
- ⑥ 大学を卒業した方又は平成26年3月31日までに卒業見込みの方
- ⑦ 大学に2年以上在学（休学期間を除く。）し、62単位以上を修得した方又は、平成26年3月31日までに修得見込みの方（平成26年3月末に2年以上在学となる方を含む。）

注：出願資格④により出願を希望する方については、事前に繊維学部入試事務室にお問い合わせ願います。

5 編入年次等

- (1) 編入学が許可された場合は、平成26年4月に第3年次への入学になります。ただし、出身学校での履修状況によっては、卒業までに要する期間が2年を超える場合もあります。
- (2) 出身学校での履修状況により、卒業要件に不足する科目がある場合は、信州大学全学教育機構（松本市）へ出向いて受講することが必要な場合もあります。

6 出願手続

- (1) 出願期間 平成25年8月30日(金)から平成25年9月6日(金) (17時までには必着)
- (2) 手続時間 8時30分から17時までとし、土曜日及び日曜日は取り扱いません。
- (3) 出願方法 この募集要項に添付する封筒〔角形2号(33cm×24cm)〕に、出願書類等を一括して入れ、持参又は「速達書留郵便」で郵送してください。
- (4) 出願書類等提出先 信州大学繊維学部入試事務室
〒386-8567 上田市常田3-15-1 TEL: 0268-21-5310 (直通)
- (5) 出願書類等

書 類 等	摘 要
*入学志願票 *受験票 *写真票	この募集要項に添付する用紙に所要事項を記入してください。受験票・写真票には出願3か月以内に撮影した上半身、無帽、正面向、背景なしの写真(縦4cm×横3cm)を指定欄に貼ってください。試験場において不審をもたれないように眼鏡・髪型等に注意してください。
調査書 又は 成績証明書	出身学(校)長が作成し、厳封したものとし、調査書の様式の定めがない場合に限り、成績証明書を提出してください。 なお、「4 出願資格⑥、⑦」の方は、成績証明書を提出してください。また、在学中の方は、現在履修中の科目及び修得単位数が明記された証明書も併せて提出してください。
*自己申告書	この募集要項に添付する用紙に「記入要領」を参照して記入してください。
卒業(見込)証明書	出身学(校)長が作成したものを提出してください。卒業(修了)見込み以外の方は、在学証明書(学年を明示したもの)又は在籍期間証明書を提出してください。 なお、「4 出願資格③」の方は、修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上である専修学校の専門課程を修了又は修了見込みであることの証明事項が記載されている卒業(見込)証明書を提出してください。
*入学検定料納付 確認書(A票)	① 入学検定料30,000円を、この募集要項に添付する振込依頼書(C票)を使用して平成25年8月23日(金)から9月6日(金)までの間に金融機関から「電信扱い」で振り込んでください。振込みには別途振込手数料が必要です。なお、ゆうちょ銀行(郵便局)からの振込みはできません。また、ATM(現金自動預支払機)、携帯電話及びパソコンからの振込みは行わないでください。 ② 振込み後、納付確認書(A票)及び領収書(B票)を受け取り、A票、B票の所定欄に金融機関の収納印があることを確認し、納付確認書(A票)を提出してください。 また、「金融機関収納印」欄に、平成25年9月6日(金)(出願期間最終日)までの収納印があるものだけに限り有効となりますので、特に出願期間最終日に振込まれる場合には、金融機関の窓口での受付時間を確認のうえ行ってください。 ③ 出願期間最終日に持参により提出する方で、金融機関の窓口業務取扱時間内に振込みができなかった方に限り、現金による納付を受け付けます。
*受験票等送付用 返信封筒	この募集要項に添付する封筒〔長形3号(23.5cm×12cm)〕に郵便番号、住所、氏名、志望課程を明記し、360円分の切手(速達料含む。)を貼ってください。
*あて名票	この募集要項に添付する用紙に、郵便番号、住所、氏名、志望課程を記入してください。

*印の書類・封筒は指定されたものが巻末に添付されています。

【記入上の注意事項】

- ① 出願書類は、黒か青のボールペン又はインクで記入してください。
- ② 誤って記入した場合は、訂正箇所を二重線で消してください。
- ③ ※印の欄は、記入しないでください。

- (6) 出願に際しての注意事項
- ① 出願書類等に不備があるものは、受理しません。
 - ② 出願書類等の志望課程の変更は、認めません。
 - ③ 受理した出願書類は、どのような理由があってもお返しできません。
 - ④ 納入済みの検定料は、出願書類を受理した後はお返しできません。
 なお、検定料を誤って二重に振り込んだ場合又は振り込んだが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合は、本人の請求により納入された検定料（二重に振り込んだ場合は重複して納入された分）の返還が可能です。返還手続きについては、本学のホームページ（入試情報／入学検定料返還手続）をご覧ください。
 (<http://www.shinshu-u.ac.jp/admission/>)
 - ⑤ 出願書類等に虚偽の記載があった場合は、入学許可を取り消します。
 - ⑥ 出願書類等の提出後、受信場所を変更した場合は、直ちに受験番号、氏名を明記のうえ、繊維学部入試事務室まで届け出てください。
 - ⑦ 出願書類等の提出後、6日を経過しても受験票等が到着しない場合には、繊維学部入試事務室に問い合わせてください。

7 選抜方法

入学者の選抜は、面接（口頭試問を含む。）の結果及び出願書類の審査結果を総合して行います。

- (1) 採点・評価基準
 面接：外国語及び専門科目の基礎的内容に関する口頭試問をします。学習意欲、語学力、専門教科の理解達成度を採点・評価基準とします。
- (2) 合否判定基準
 面接点と調査書の内容を総合評価します。

8 選抜期日及び試験場

- (1) 選抜期日

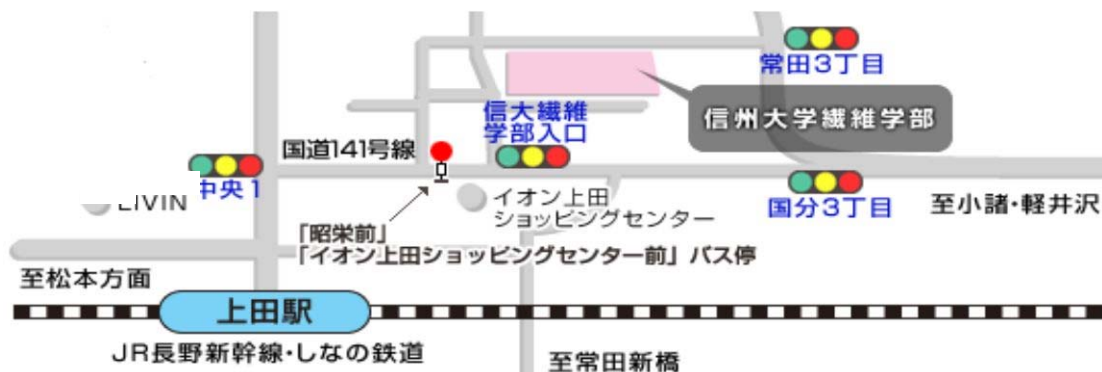
期 日	時 間	選抜方法
平成25年 9月11日(水)	13:00～	面接(口頭試問を含む。)

- (2) 試験場

信州大学繊維学部 上田市常田3-15-1

- (3) 試験場までの交通案内

- ・ JR・しなの鉄道上田駅お城口から徒歩約20分、又はタクシーで5分
- ・ JR・しなの鉄道上田駅お城口（乗り場1番）から千曲バス“鹿教湯行、武石行”のいずれか乗車、「昭栄前」下車、徒歩5分
- ・ JR・しなの鉄道上田駅お城口（乗り場4番）から上田バス“市内循環東コース”乗車、「イオン上田ショッピングセンター前」下車、徒歩5分



9 合格発表

平成25年9月20日（金）10時

本学部掲示板に掲示するとともに、同日付で本人あてに合否を文書で郵送により通知します。

なお、電話・eメール等による合否の問い合わせには、応じられません。

10 入学手続

(1) 手続期間

平成25年9月27日（金）から10月4日（金）（消印有効）まで

※持参する場合の入学手続の受付は、平日の8時30分から17時までとし、土曜日及び日曜日は受け付けません。

(2) 手続方法

入学手続期間内に、「銀行振込」により入学料を納入するとともに、原則として「郵送」により必要な書類を提出してください。

(3) 手続場所

信州大学繊維学部入試事務室

〒386-8567 上田市常田3-15-1

直通電話：0268-21-5310

(4) 納付金の納入等

① 納付金（入学料・授業料）の額

ア 入学料 282,000円

イ 授業料（前・後期）各 267,900円 [年額 535,800円]

(注) 金額は、平成25年4月現在のものです。

入学時及び在学中に入学料・授業料が改定された場合には、改定時から新入学料・新授業料が適用されます。納付金の額及び納付の方法については、入学手続書類送付時に通知します。

② 既納の入学料は、どのような理由があってもお返しできません。

③ 授業料は、入学後の納付になります。

④ 入学料・授業料の納入が著しく困難な方には、免除制度及び徴収猶予制度及び月割分納制度（授業料のみ）がありますので、希望者は、入学手続書類送付時に同封される入学料免除・授業料免除等に関する書類をよく読んで願い出てください。

(5) 手続に当たっての注意事項

① 入学手続書類を受領したら、なるべく早く入学手続を行ってください。

② 入学手続締切期日（消印有効）までに入学手続を完了しない場合は、本学への入学を辞退したものととして取り扱います。

11 追加合格

(1) 入学手続締切後、募集人員に欠員が生じた場合には、追加合格の手続を行います。

(2) 追加合格候補者には、合格発表の際に、追加合格候補者である旨の通知書を郵送します。

(3) 追加合格の手続を行う場合は、平成25年10月7日（月）から10月10日（木）までの間に順次追加合格者を決定し、電話による意思の確認を行います。

なお、追加合格の手続は、入学志願票に記載された本人の連絡先へ電話により直接連絡します。

12 障害がある方の事前相談

本学に入学を志願する方で、障害（別表参照）があり受験上及び修学上特別な配慮を必要とする方は、出願の前に、下記事項を記載した書面（様式は問いません。）を提出してください。なお、重度の障害がある方は、できる限り早い時期に相談してください。

（注）日常生活においてごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、試験場設定等において何らかの措置が必要となる場合がありますので、事前に相談してください。

事前相談は障害がある志願者に本学の現状をあらかじめ知っていただき、受験及び修学にあたってより良い方法やあり方を実現するためのもので、障害がある方の受験や修学を制限するものではありません。

（1）提出の時期

平成25年8月23日（金）まで

（2）書面に記載する内容

- ① 志願者の氏名、住所、電話番号
- ② 出身学校名
- ③ 志願学部、課程等（課程名の後に「第3年次編入」と記載してください。）
- ④ 障害の種類・程度（現に治療中の方は、医師の診断書を添付してください。）
- ⑤ 受験上特別な配慮を希望する事項
- ⑥ 修学上特別な配慮を希望する事項
- ⑦ 出身学校でとられていた特別な配慮
- ⑧ 日常生活の状況

（3）提出先

信州大学繊維学部入試事務室

〒386-8567 上田市常田3-15-1

直通電話：0268-21-5310

（4）提出期限後の不慮の事故等による場合の特別な配慮提出期限後に不慮の事故等により障害を有することとなった場合は、その際にご相談ください。

〔別 表〕

区分	障害の程度
視覚障害者	両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴覚障害者	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によっても通常の話し声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由者	1. 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 2. 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病弱者	1. 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2. 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの
その他	上記以外で、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする程度のもの

（参考：学校教育法施行令第22条の3、発達障害者支援法第2条）

13 個人情報の利用

信州大学における入学者選抜を通して取得した個人情報については、入学者選抜のほか次の目的のために利用いたします。

- ① 入学手続
- ② 学籍管理
- ③ 学習指導
- ④ 学制支援関係業務
- ⑤ 入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究

なお、調査・研究及び結果の発表に際しては、個人が特定できないように処理します。

14 編入学前の既修得単位の認定等について

(1) 本学部では、編入学生が編入学以前の高等教育機関で修得した科目の単位を、提出された成績証明書を基に確認し、それを本学部で履修すべき科目と対応させ、信州大学繊維学部規程に基づいて審査し、所定の基準を満たす科目を本学部における授業科目として、単位を認定します。

なお、合格した場合は、単位認定の関係上、在籍時のシラバスを提出いただくこともあります。

(2) 編入学生については、本学の修業年限のうち2年間に既に在学したものとして取り扱い、編入学後の在学期間は2年以上、4年以内となります。

15 入試情報の開示について

本選抜に係る試験結果等を次のとおり開示します。

(1) 志願者数

開示方法：信州大学繊維学部ホームページ

開示時期：出願期間終了後、人数が確定次第

(2) 受験者数、合格者数、入学者数

開示方法：信州大学繊維学部ホームページ

開示時期：平成26年4月以降

(3) 個人情報等

① 試験成績

② 調査書（客観的事実に係る記録部分）

開示方法： ①の試験成績は、開示請求による郵送を原則とします。

②の調査書は、窓口での閲覧のみとします。

請求者： 原則として受験者本人

請求方法： この募集要項に添付する「入試情報開示請求願」に必要事項を記入し、次ページの開示請求先に郵送（又は持参）してください。

※ 受験者本人であることを確認するとともに、受験番号を照合するため、本学の受験票を必ず添付してください。

※ 試験成績の郵送を希望する場合は、返信用封筒〔長形3号（23.5 cm×12cm）に郵便番号、住所、氏名を明記し、簡易書留料金を含む390円分の切手を貼ったもの〕を同封してください。

受付期間： 平成26年5月1日（木）～平成26年6月30日（月）
 ※ 郵送の場合は，6月30日の消印有効
 ※ 持参の場合は，平日の8時30分から17時までとします。

開示時期： 平成26年5月～7月

開示請求先： 信州大学繊維学部入試事務室
 〒386-8567 上田市常田3-15-1 電話 0268-21-5310

16 その他

- (1) 平成26年3月までに所定の要件を満たす見込みで受験し合格した方が，所定の要件を満たすことができなかつた場合には，入学を許可しません。
- (2) この募集要項及び出願書類一式を希望する方は，240円分の切手を貼った返信用封筒（角形2号（24cm×33.2cm））を同封し，大学宛封筒の表の左端に「第3年次編入学（第2次募集）募集要項請求」と朱書きのうえ，請求してください。
 請求先 信州大学繊維学部入試事務室
 〒386-8567 上田市常田3-15-1 TEL：0268-21-5310(直通)
- (3) 平成25年度信州大学繊維学部第3年次編入学試験 入学状況

課 程	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
先進繊維工学課程	10人	0	0	0	0
感性工学課程		5	4	3	3
機能機械学課程		5	5	3	3
バイオエンジニアリング課程		0	0	0	0
応用化学課程		1	1	1	1
材料化学工学課程		0	0	0	0
機能高分子学課程		2	2	2	2
生物機能科学課程		0	0	0	0
生物資源・環境科学課程		1	1	1	1
合 計			14	13	10

- (4) 受験票は，入学手続や入試情報開示請求の際も必要となりますので，それまで大切に保管してください。

課 程 紹 介

▼先進繊維工学課程

日本でただ一つテキスタイル工学を基礎として、先進機能繊維材料の開発、繊維製品の付加価値化加工技術、スポーツ関連製品や工業製品の自動計測・評価技術などについて教育・研究を行います。

▼感性工学課程

感性工学課程では、こころが喜ぶ「感性価値」の創造を追求する感性プロダクトを養成しています。ハードからソフトまで感性豊かな製品を、総合的に創れる専門技術者を養成し、豊かで持続可能な社会の発展に貢献します。

▼機能機械学課程

《本課程のカリキュラムはJABEE（日本技術者教育機構）の機械および機械関連分野で認定を受けており、国際レベルの技術者教育を行っている。》

人をはじめとする生物の機能に学び、それを超える機械の創造を目指す課程です。機械工学を中心に、電子・情報・材料・生体など周辺領域の広い技術を融合させ、原理的・質的に新しい機能を持つ機械、多機能化された機械を創り出すための教育・研究を行っています。

▼バイオエンジニアリング課程

ヒトを含めた生物の構造や機能を機械工学的に探求する「バイオメカニクス」、生物に学びヒトと融合した新しいロボットを創造する「バイオリボティクス」を2本柱に、生物学・機械工学・ロボット学を横断するユニークな教育・研究を行っています。

▼応用化学課程

原子・分子をあやつるといふ化学的手法により日々新しい製品が開発されています。応用化学課程では、原子・分子をあやつるといふ化学本来の特長を最大限に活かしながら、新しい有用な化学物質やナノ物質を創製し物性を調べる研究を行っています。それを通じ人々の生活の向上とエネルギー問題等の解決などに貢献できるような有能な研究者・技術者を育成するための教育を鋭意行っています。

▼材料化学工学課程

《本課程のカリキュラムはJABEE（日本技術者教育機構）の化学および化学関連分野（化学工学コース）で認定を受けており、国際レベルの技術者教育を行っている。》

資源・エネルギー・環境問題の解決に役立つ材料およびその性質、製造法、利用法に関する学問を教育し、研究する課程です。燃料電池、太陽電池、光触媒、バイオマス、高機能ファイバーなどの研究をしています。

▼機能高分子学課程

機能高分子学と名のつくわが国唯一の本課程は、高分子合成、高分子物性、高分子機能を軸にして、化学、繊維、電子、情報、環境、資源、エネルギー、医療などの幅広い分野にわたる教育・研究を行っています。

▼生物機能科学課程

タンパク質工学、染色体工学、細胞工学などのバイオテクノロジーを駆使し、生物固有の構造や機能を解明すると共に有効利用し、食品分野や品種改良、有用物質生産に応用する教育・研究を行います。

▼生物資源・環境科学課程

様々な生物が関与して物質循環が整然と営まれている自然環境に学びつつ、生態学から分子生物学や環境化学までの幅広い分野で、生物資源の持続的な生産と有効活用を目指した教育・研究を行います。

信州大学繊維学部

平成25年7月発行

発行・編集／信州大学繊維学部 入試事務室

〒386-8567 長野県上田市常田3-15-1 TEL 0268-21-5310